

**製品名: FH マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM85073**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 55 kDa; Observed MW: 50 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FH
別名	Fumarate hydratase; mitochondrial; Fumarase
遺伝子 ID	2271.0
SwissProt ID	P07954
免疫原	FH の合成ペプチド

**背景**

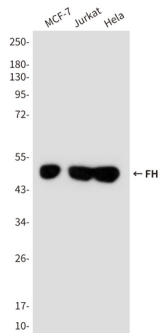
腫瘍抑制因子としても作用する。その他基質結合部位は2つあり、触媒 A 部位と、活性部位と溶媒間の基質または生成物の移動に関

与すると考えられる非触媒 B 部位である。あるいは、B 部位はアロステリックエフェクターに結合する可能性がある。

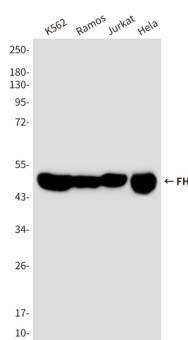
## 研究分野

-

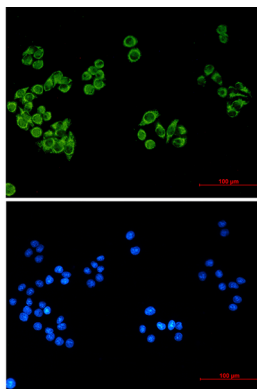
## 画像データ



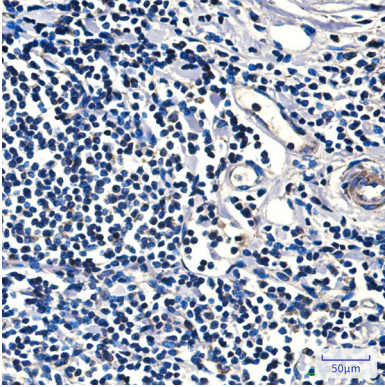
フマラーゼ抗体を使用した、MCF-7、Jurkat、および HeLa 溶解物中のフマラーゼのウエスタンブロット分析。



フマラーゼ抗体を使用した、K562、Ramos、Jurkat、HeLa 溶解物中の FH のウエスタンブロット分析。



FH/フマラーゼ抗体および DAPI (青) を用いた HeLa 中の FH/フマラーゼ (緑) の免疫細胞化学分析



FH/フマラーゼ抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。